

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 新潟空港事務所庁舎改修工事

開札年月日 令和8年1月15日（落札決定日 令和8年4月27日）

入札執行官署 東京航空局

落札金額 ￥116,216,100 -

落札者 株式会社アスムコーポレーション

予定価格 ￥140,030,000 -

積算額 ￥140,030,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥127,300,000 -

調査基準価格 ￥128,827,600 - 調査基準価格の100/110 ￥117,116,000 -

基準評価値 78.554

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点 152点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社アスムコーポレーション	110.5	105,651,000	104.589	○				第1回 落札
株式会社帆苺組	-	131,000,000	-					
北川瀝青工業株式会社	-	133,000,000	-					
株式会社鈴木組	-	146,000,000	-					
株式会社吉久建設	-	146,390,000	-					
株式会社田中組	-	177,780,000	-					
株式会社スタイリッシュハウス	-	190,000,000	-					
株式会社つづく	-	190,000,000	-					
株式会社近藤組	-	辞退	-					
株式会社立保	-	辞退	-					

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 新潟空港事務所庁舎改修工事

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社アスムコーポレーション 福岡県福岡市西区大字羽根戸168-1

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	入札金額は、同種工事の施工経験及び各協力会社との調整により工程短縮が可能であるとの見通しを前提に、過去の施工実績並びに保有する技術力を考慮して算定した工事価格を基に決定したとのことである。直接工事費については、下請予定者から提出された見積書及びヒアリング結果を基に積算されていることを確認した。また、共通費については、直近の同種工事の実績を踏まえ、必要と見込まれる費用が計上されている。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	本工事付近における手持工事はない。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	経費削減に直接寄与すると考えられる関連工事は確認されなかった。
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	契約対象工事箇所と調査対象者の事業所との距離は直線で1,000km以上あり、新潟県内に事業所又は倉庫は設置されていない。このため、地理的条件による経費削減効果は認められず、緊急時対応や安全管理面において特段の優位性があるとはいえない。
⑤ 手持資材の状況	本工事において、手持資材を使用する予定はない。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材は下請予定者の協力により調達する計画であり、資材費を含めた見積金額が、入札内訳書において同額以上で計上されていることを確認した。
⑦ 手持機械数の状況	本工事に使用予定の手持機械はない。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	本工事に必要となる職種ごとの労務者については、確保可能であるとの説明を受けており、ヒアリングの結果、工事の適切な施工に支障はないと判断した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事について、工事名及び発注者を確認するとともに、当時の低入札価格調査資料、契約書及び工事成績評定の内容を確認した。
⑩ 経営内容	過去にも多くの官公庁発注の工事を受注しており問題無い。
⑪ 1 から10までの事情徴収した結果についての調査検討	以上の調査結果から、本工事の仕様内容は、概ね当局の想定と整合していることを確認した。また、工事価格については、公開された数量及び設計図書に基づき内訳書が作成され、設計図書に基づく施工を実施するために必要な費用は計上されていた。一般的に価格乖離が認められるが、その中でも共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費）については、当局積算との間に大きな価格乖離が認められたものの、それぞれ下請予定者の見積書、ヒアリング結果及び工程短縮によるコスト削減の可能性等を踏まえて算定されていることが確認でき、合理性を欠くものではないと判断した。さらに、職種ごとの作業員数及び労務費についても、下請予定者との調整が整っていることをヒアリングにより確認した。現場管理については、常駐の現場代理人及び定期的な検査を行う品質管理技術者により管理される体制が確保されており、工期内に施工が完了する見込みである。これらを総合的に判断した結果、本契約について、契約内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。ただし、今後の施工にあたっては、主任現場監督員を1名追加するなど監督体制を強化し、品質の確保、労働条件の悪化防止及び安全対策の確保に十分留意するものとする。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。

